



(1) 大阪中央放送局正面全景。

完成した大阪中央放送局

昭和9年2月以來、大阪市東區馬場町東南角に建築中であつたJOBK(大阪中央放送局)廳舎は去昭和11年10月21日完く竣成した。

本工事は鐵骨鐵筋コンクリート造、地下1階、地上6階で、3階の塔屋があり、その高さは地上125尺である。建坪582坪、延面積2,922坪で、總工費約140萬圓を要した。

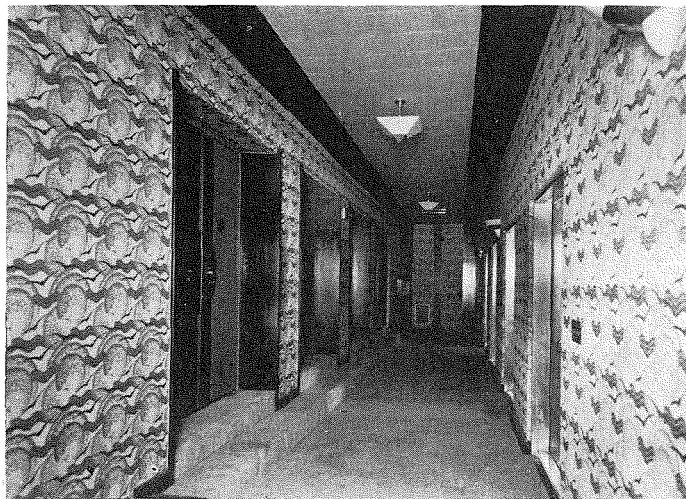
この建築の特異な點は放送局としての諸機能を完からしむる爲、音響に對する最新科學の粹を蒐め、その技術的設備は完璧精緻を極めて『音の殿堂』として我國の代表的建築である。防音、殘響は勿論、音波の立體的効果を昂める爲、各放送室は其使途に應じ、天井壁、床、扉等に夫々特異な工夫が秘められてゐる。

スタジオは全部で12あつて、其中最大のものゝ3階吹抜となつて居り、大人數のオーケストラやコーラスでも平氣で收容し得る大放送室である。壁の仕上は黒ペンキ塗、外部からの雜音を絶対に遮斷するためにはコンクリート壁と仕上壁との間に3尺の空間を設け2重壁を作つて木造壁には特殊の金物で卷いたミネラルフェルトを張り上げ、其上をプラトン又はベニヤ、キルク音響スレート、バルボイド等で化粧を施してある。

2階に料金關係室、第一副調整室、3階に局長室、貴賓室、應接室、會議室などあり、4階は第十一、十二スタジオ、ニュース係室事務室、主調整室、5階には第二から第七まで七つのスタジオが並んでゐる。6階には第



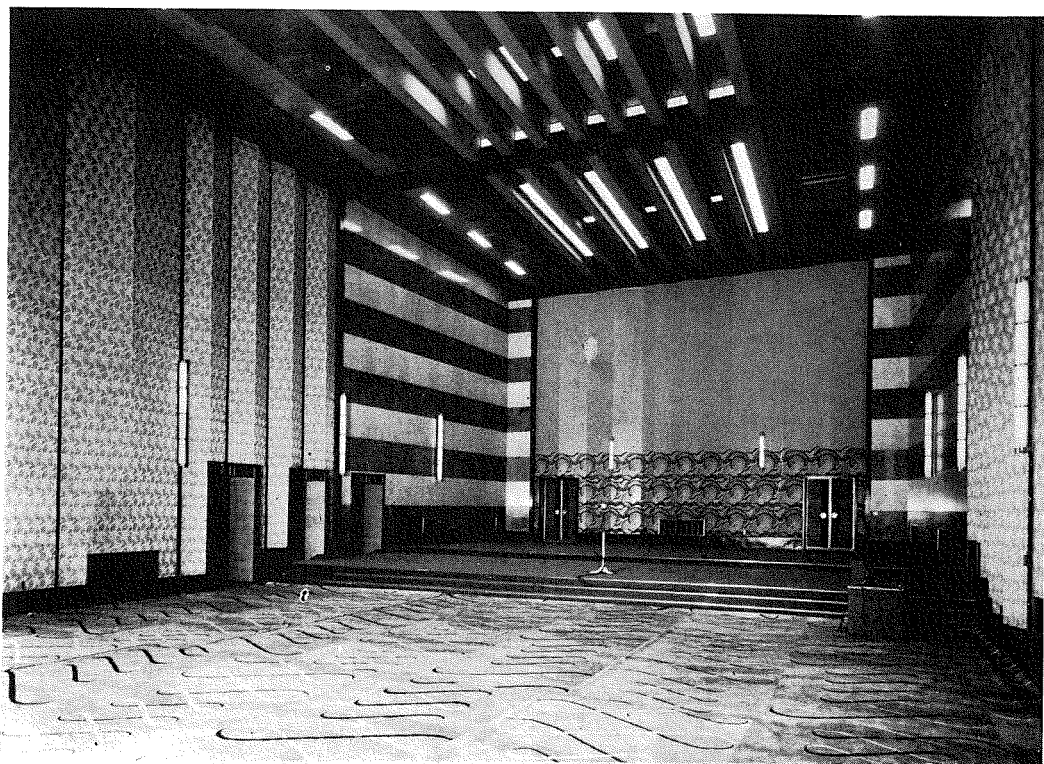
(2) 正面玄関。



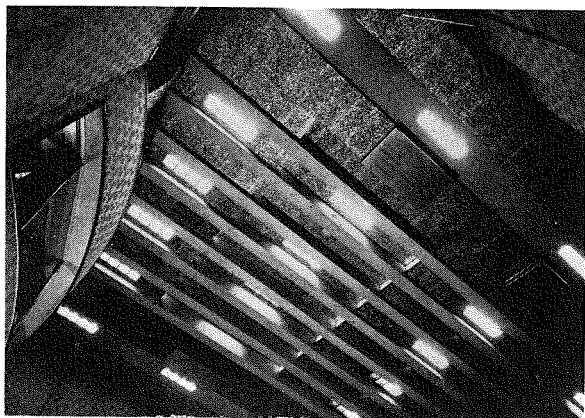
(3) 1階の間ホール。



(4) 2階ホール。



(5) 第一演奏室正面。



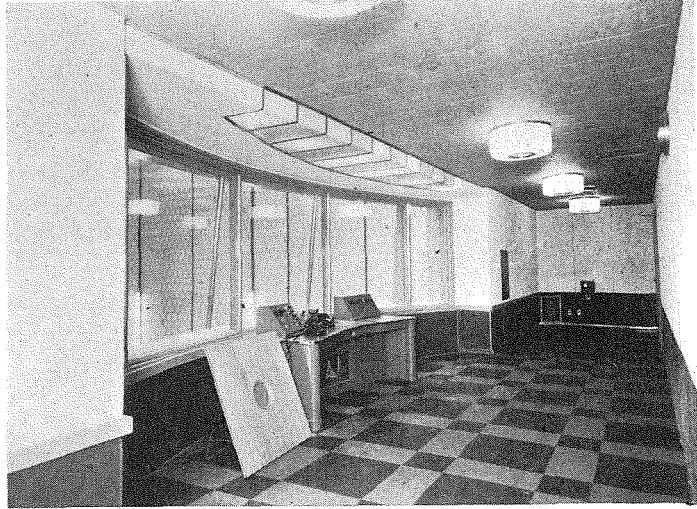
(6)
同上
天井。

八から第十の三つのスタジオがある。

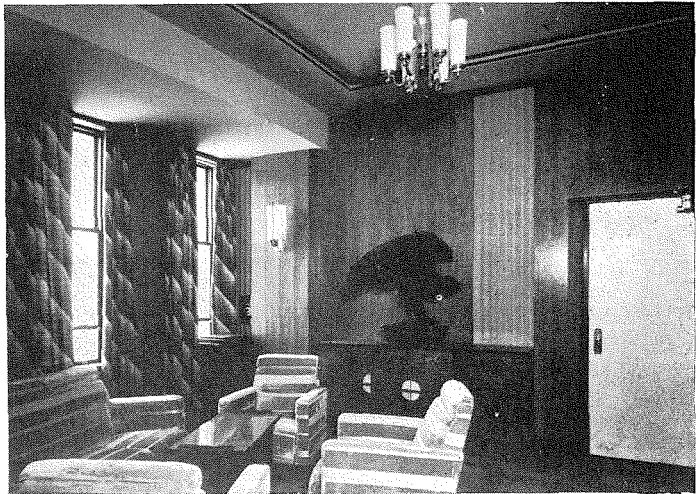
暖房、冷房、エレベータ等の諸設備も無音のものばかりである。

設計は渡邊仁建築工務所、施工は株式会社大林組で、鉄骨製作は松尾鉄骨橋梁株式会社、鑿泉施工森川ボーリング株式会社、ペイント一式關西ペイント株式会社、エレベータは日本エレベータ製造株式会社の施工である。

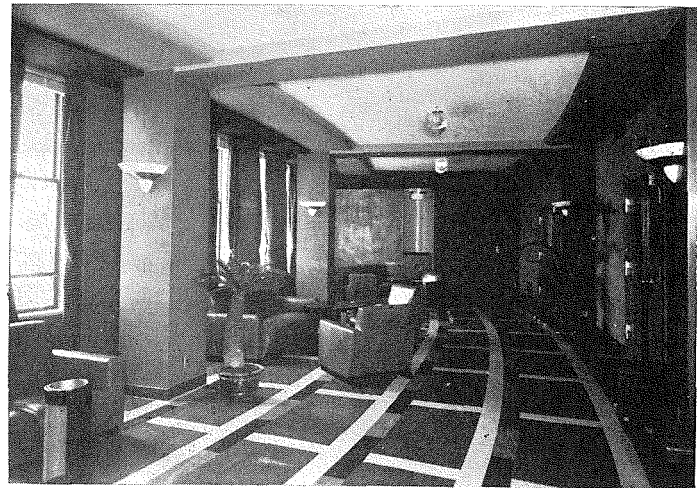
(7) 第一副調整室。



(8) 3階貴賓室。

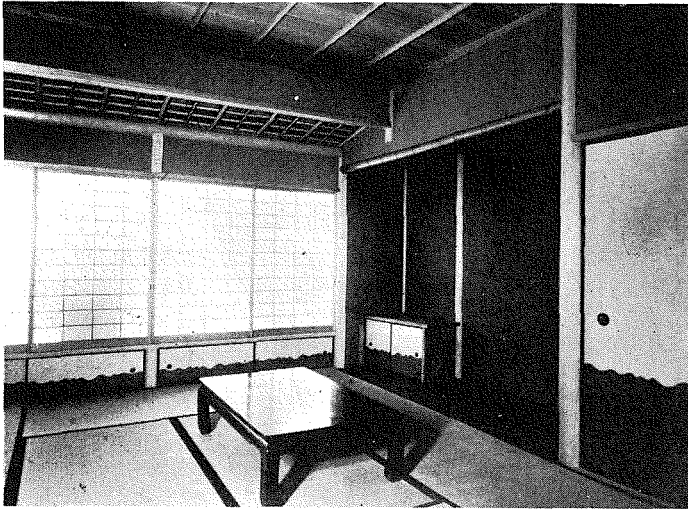


(9) 3階休憩室。

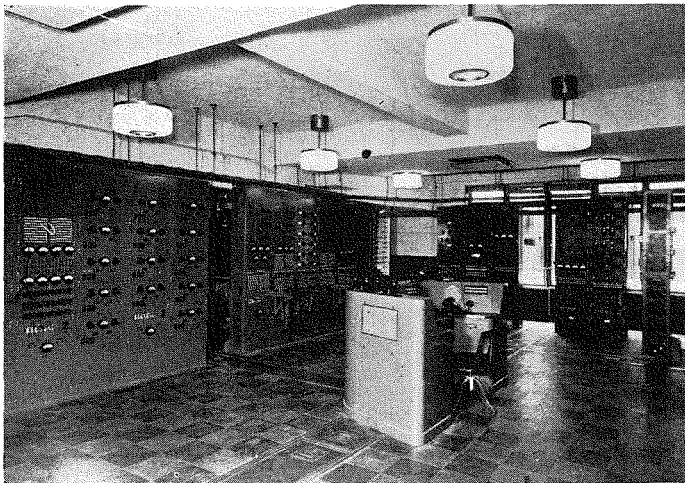




(10)
3
階
會
議
室。



(11)
和
式
休
憩
室。



(12)
3
階
主
調
整
室。